

Oracle Red Bull Racing が F1 コンストラクターズチャンピオン連覇を達成 ～Honda とのチームパートナーシップで掴んだ栄冠～

9月24日に、2023年シーズン FIA^{※1} フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）第17戦日本グランプリの決勝が開催され、Honda がチームパートナーを務める Oracle Red Bull Racing（以下、オラクル・レッドブル・レーシング）のマックス・フェルスタッペン選手が優勝し、オラクル・レッドブル・レーシングは年間コンストラクターズチャンピオン連覇を達成しました。

今シーズン、タイトル獲得に加え、オラクル・レッドブル・レーシングは第15戦^{※2} イタリアグランプリにて 2022 年シーズン最終戦のアブダビグランプリから続く 15 連勝を記録し、マックス・フェルスタッペン選手もドライバーとして今シーズンのマイアミグランプリから 10 連勝を達成。ともに過去の記録を塗り替える、F1 史上最高記録を樹立しました。

※1 Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※2 第6戦エミリア・ロマーニャグランプリが開催中止となつたため第15戦が今シーズン 14 戦目のレース



Honda は今シーズン、オラクル・レッドブル・レーシングおよび Scuderia AlphaTauri (以下、スクーデリア・アルファタウリ) のチームパートナーとして、技術支援やマーケティング協力などを行っており、その一環として、株式会社ホンダ・レーシング (以下、HRC) がパワーユニット (以下、PU) の ESS^{※3} 以外のコンポーネントを製造し、Red Bull Powertrains (レッドブル・パワートレインズ)^{※4} への供給とシーズンを通した PU 運用のサポートを行っています。

※3 Energy Storage System の略。回生された電気エネルギーを保管するためのバッテリーシステム

※4 Red Bull Group (レッドブル・グループ) 内で F1 向け PU を製造する会社。現行 PU に関して ESS の製造と運用を担う

なお、このチームパートナーシップが続く 2025 年シーズンまで、オラクル・レッドブル・レーシングとスクーデリア・アルファタウリの両チームは Honda が技術支援する PU を搭載したマシンで F1 に参戦する予定です。

■本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部敏宏のコメント

「オラクル・レッドブル・レーシングのコンストラクターズチャンピオン連覇達成に対し、心よりお祝い申し上げるとともに、Honda の地元、鈴鹿サーキットで年間タイトルを獲得してくれたことを大変うれしく思います。今シーズン残る 6 レースと 2024 年、2025 年シーズンもチームパートナーとして全力でサポートしてまいります。これからも Honda はレースを盛り上げていくとともに、世界最高峰カテゴリーで培った技術を研ぎ澄まし、先進技術領域などでも世界一を目指し挑戦し続けていきます」

■株式会社ホンダ・レーシング 代表取締役社長 渡辺康治のコメント

「オラクル・レッドブル・レーシングのコンストラクターズチャンピオン連覇達成おめでとうございます。Honda/HRC の技術が込められた PU がこのような偉業に貢献できたことをうれしく思うとともに、HRC のメンバーはもちろん、このプロジェクトに関わっている オール Honda のメンバー、そして、サプライヤーの皆様など、PU 製造に携わる全ての方々に改めて感謝を申し上げます。これからも HRC は技術を磨き、全力でオラクル・レッドブル・レーシングとスクーデリア・アルファタウリ両チームへの技術サポートを続けてまいります」